2026年11月５日

各　位

会 社 名　　イー・ガーディアン株式会社
代表者名　　代表取締役社長　高谷　康久
（コード：6050　東証プライム）
問合せ先　　常務取締役　　佐藤　　伸
（TEL　03-6205-8857）

2026年９月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年11月７日に公表いたしました2026年９月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

百万円未満切捨て

１．2026年９月期通期の連結業績予想と実績値との差異（2025年10月１日～2026年９月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	12,009	1,604	1,629	1,033	89.36
実績値（Ｂ）	11,294	962	1,032	547	47.18
増減額（Ｂ－Ａ）	△715	△641	△596	△486	△42.18
増減率（％）	△6.0	△40.0	△36.6	△47.1	△47.2
（参考）前期連結実績（２０２５年９月期）	11,321	1,504	1,530	943	81.52

２．差異の理由

2026年９月期の連結業績につきましては、売上高はソーシャルサポート事業及びサイバーセキュリティ事業が伸長したものの、ゲームサポート事業において前連結会計年度に受注した家庭用ゲーム向け大型案件が終了したことに加え、アド・プロセス事業において広告審査業務等へのＡＩ活用の進展に伴い既存顧客の案件規模が縮小したことにより、予想を715百万円下回りました。営業利益及び経常利益につきましては、第１四半期の減収及び第３四半期の収益性向上を目的とした拠点の統廃合に伴う一時的な労務費の重複により売上総利益率が予想を下回ったことに加え、「ＡＩ－ＢＰＯ」の早期収益化に向けて高度ＡＩ人材をはじめとする人材の採用を予想以上に進めたことによる人件費・業務委託費の増加及び2026年９月30日を基準日とする株主優待に係る費用205百万円（予想値150百万円）の計上により販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は予想を641百万円、経常利益は予想を596百万円下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、「ＡＩ－ＢＰＯ」の収益化を進める中で、より汎用性の高い次世代システムの開発の必要性を認識したことから、一部のカスタマーサポートツールの開発を中止し、経営資源を次世代システムの開発に振り向けることとしたことに伴い、関連するソフトウエア仮勘定等について減損損失119百万円を特別損失に計上したことにより、予想を486百万円下回りました。

なお、2026年９月期の配当予想の変更はありません。

３．業績予想の修正を行わなかった経緯

当社は、2026 年８月３日の第３四半期決算発表時点において、第４四半期に既存顧客からの監視業務の受注拡大、株式会社アウトソーシングコミュニケーションズの連結による売上寄与等を見込んでいたことから、通期連結業績予想を据え置いておりました。

第４四半期の業績の確定には、月次決算に加え、減損損失の計上要否の検討及び株主優待に係る費用の確定等の決算手続が必要であり、これらの利益の各段階への影響を合わせて把握したうえで開示することが適切と判断し、業績予想の修正を行わず、本日の決算発表とあわせて、予想と実績値との差異を開示することといたしました。

結果として、修正の開示が決算発表と同時になったことを真摯に受け止め、今後は、月次の予実管理に基づく業績予想の修正要否の判定を強化し、予想と実績値との乖離が見込まれる場合には、確定前であっても速やかに開示してまいります。

以 上